

2日目(9月7日午前10:00~) セッション概要-II

A-9 そのとき行動できる人を創るPM 事例を読み解く

システム運用コンサルタント
岡崎 博之

【セミナーの狙い】

検知した兆候・事象を最悪の事態に至らせないために必要となるのは『人の行動』である。

そして最悪の事態に至らせてしまうのも『人の行動』である。この差はどこから生まれるのだろうか？

迅速に適切な行動を可能にするための活動を事例をもちいて紹介する。

【セミナーコンテンツ】

1. 重大障害/事故 事例検討
2. システム運用プロセスと実際の行動
3. 行動を可能にする取り組み
4. 実践事例紹介
5. まとめ

【受講をお勧めする方】

システム保守・運用に関わるリーダー・責任者

システム保守・運用に関わるSE(運用設計、運用マニュアル作成、運用教育)

【講師略歴】システム運用コンサルタント

1956年富山県生まれ。石川高専、大阪府立大学で電気工学を学び、東京工業大学大学院で半導体レーザの周波数安定化を研究。日本HPにて計測システム開発、CAD(電子回路)SE、技術(UINIXシステム管理・ネットワーク管理)講師、医療機器(超音波診断装置)営業を経験。電子部品開発会社のIT部門担当、データセンターSEを経て現在システム運用コンサルタントに従事。PMAJ会員。

A-10 部下や後輩を効率よく効果的に育てる 人を育て、自分も育ち、チーム全体の力を向上する

グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社
人材教育コンサルタント 田中 淳子 **ワークショップ**

【セミナーの狙い】

若手を早く一人前にするためにマネジャーやリーダーが考えるべきこと、なすべきことを演習も交えて具体的に学ぶ。

【セミナーコンテンツ】

若手をいかに早く一人前に育て、戦力とするか、その結果、チーム力をどう向上するかはマネジャーやリーダーの課題の一つである。また、若手を育てることは自分自身の成長にも大きく役立つものである。

このセミナーでは、若手を育てる際の考え方から育成指導に関する具体的なノウハウまでを自身の成長と絡め学習する。

以下の内容を扱う予定である。「仕事の価値観や取り組む姿勢の伝え方」「メンバのやる気を高め維持する方法」「効果的なフィードバックの仕方(褒め方、叱り方)など」、「若手指導を通じた自身の成長ポイント」など。演習あり。

【受講をお勧めする方】

部下や後輩の育成指導にあたっている方。若手育成に興味、関心が高い方。

【講師略歴】1986年日本DEC入社。1996年グローバルナレッジネットワーク入社。20年以上にわたり、ヒューマンスキル分野での人材育成に携わる。近年は各企業の若手指導制度である「OJT制度」の支援に力を入れている。著書「はじめての後輩指導」(日本経団連出版)「速効!SEのためのコミュニケーション実践塾」(日経BP社)。ブログ:「田中淳子の“大人の学び”支援隊!」Twitter/Facebook: TanakaLaJunko

2日目(9月7日午後13:45~) セッション概要-I

B-1 PMBOK®ガイド第4版概要解説 PMBOK®ガイド第4版によるプロジェクトマネジメント知識体系の解説

PFUアプリケーションズ株式会社
高橋 政孝 **PMP**

【セミナーの狙い】

PMBOK®ガイドは版を重ねて第4版となり、内容はますます洗練されてきた。PMP®取得者は38万人を越え、プロジェクトマネジメント知識の標準として世界に広く認められてきている。

本セミナーでは、PMBOK®ガイド第4版を解説したのち、仮想プロジェクトを元にPMBOK®ガイドをどのように適用させるか当てはめながら解説して受講者のプロジェクトマネジメントの実践に役立てて頂くことを目的としている。

【セミナーコンテンツ】

PMBOK®ガイドのフレームワーク、9つの知識エリア、5つのプロセス群、42のプロセスの概要と位置づけの解説。

【受講をお勧めする方】

PMBOK®ガイドの内容を知りたい方、PMP®取得を目指す方、プロジェクト・マネジャー、プロジェクト・リーダーの方。

【講師略歴】1992年に株式会社PFUに入社し、現PFUアプリケーションズへ出向中。ネットワーク監視ソフトウェア製品開発、携帯向け音楽配信ライセンス規格開発、検疫ネットワーク開発といったプロダクト系プロジェクトやフィールドSEとして受託開発系プロジェクトのプロジェクトマネージャとして従事している。日本プロジェクトマネジメント協会会員、PMP®。

B-2 「場」の発見 暗黙要件を見つける方法論

アンリツ株式会社 根上 勇一
株式会社イネーブル・ツリー 板倉 稔 **SIG**

【セミナーの狙い】

システム開発を経験した者なら誰でも、要件定義の漏れが後で大きな問題になった経験があるのではなからうか。「知る人ぞ知る人から要件を聞き出す」やり方から、「方法論で要件(を生ずる場)を見つけ出す」様にしたい。その方法論としてG2BizMo(現地現物ビジネス・モデリング)をやってみる。

G2BizMoによって、管理対象、状態、イベント、処理を使い分けて、条件分岐図でなく状態遷移図を描き、状態遷移マトリクスを描けるようにする。

【セミナーコンテンツ】

- ・要件を発見する方法論G2BizMo
- ・管理対象のライフサイクルとしての状態遷移図
- ・状態遷移図のレビュー方法
- ・状態遷移マトリクス
- ・状態遷移マトリクスでの掛け算による検証

【受講をお勧めする方】

要件定義の品質を上げたい方。

【講師略歴】根上 勇一:1992年アンリツ(株)入社以来、携帯電話開発用計測器において、各種通信規格のプロトコルスタックの開発に従事。現在は、開発部のプロジェクトマネージャを務める。
板倉 稔:1967年から、100万円から100億円を超える幅広いコンピュータシステム開発プロジェクトで、システム開発プロジェクトの様々な役割を果たしてきた。現場の体験を法則にすることが趣味。

A-11 複雑な問題に挑むリーダーの思考と対話 本当はもっと創造的に解決できませんか!?

オープン・ウイル 代表 中村 文彦
株式会社アネゴ企画 代表取締役 上田 雅美 **ワークショップ**

【セミナーの狙い】

我々の周りで発生している問題は複雑化している。これらの問題を本質的に解決するためには、すべての関係者が互いの立場を理解し協働する必要がある。ところが多くの場合、各関係者は、他者の立場を深く理解せず、自分の役割を限定的に捉え、問題を表面的に定義してしまう。その結果、解決したように見えても課題が残ったり、意図せぬ悲劇を招いたりしてしまう。問題解決を進めるためには、各関係者が他者に共感し創造的に思考する必要がある。

この講座においては、実際に発生した問題事例について受講者同士で話し合うことで、本質的な解決に向かうための関係者の関係性を考察し、その考察を自分自身の体験に重ねてふりかえることを狙いとする。

【セミナーコンテンツ】

創造的な問題解決を実現する思考様式と行動様式

【受講をお勧めする方】

創造的な問題解決を目指す方(初心者歓迎)

【講師略歴】中村 文彦:オープン・ウイル 代表。中小企業診断士。IT系ベンチャーに入社し、プログラマー・プロジェクト営業・組織人材開発に従事。現在は独立して経営コンサルタント業を行う。
上田 雅美:(株)アネゴ企画 代表取締役。商社総務部勤務・PCインストラクター・SEを経て独立。2008年アネゴ企画を設立。現在はエグゼクティブ中心にコーチングを行う傍ら、企業内コーチの育成や、執筆等を行う。

B-3 ICT分野への実践的P2M適用について P2Mハンドブックの解説

株式会社富士通アドバンスソリューションズ
第四ソリューション事業部 部長 服部 雅臣 **SIG**

【セミナーの狙い】

新たに作成された「P2Mハンドブック」を解説する。本ハンドブックは、難解と言われる「P2M」を、ICT業界向けに平易に解説し、今後さらなる普及を目的に作成された。

昨今のシステム開発は、大規模・複雑・高度化しており、単なるQCDコントロールのマネジメント手法では対応が困難になってきている。超上流での戦略立案、新しいビジネスモデルの検討及び、リスクの高いプロジェクトに挑戦する場合に有利であるマネジメント手法として、「P2M」を解説する。

【セミナーコンテンツ】

1. P2Mの概要(マネジメント体系)
2. P2Mの特長
3. P2Mと他マネジメントの比較
4. P2M適用事例 等

【受講をお勧めする方】

ICT分野に従事するユーザ企業、ベンダー企業双方の事業戦略の推進責任者及び、開発プロマネ責任者。

【講師略歴】富士通株式会社に入社以降、主に金融機関向け開発の、システムエンジニア、プロジェクトマネージャを歴任。2010年以降、PMOの立場でプロジェクトを牽引。同時に、開発プロセスの標準化、効率化改善等に取り組んでいる。一方、プロマネ育成の講師を勤めるとともに、PMAJでのIT-SIGメンバーとして、今回P2Mハンドブック執筆にも参画。

B-4 PMのための“Dress for success” イメージマネジメント(印象管理)による自己開発方法

株式会社パーソナルコンサルティング
代表取締役 イメージコンサルタント 鶏内 敏江

【セミナーの狙い】

“イメージマネジメント(印象管理)”は自分をブランディングするツール。人のイメージ(印象)を構成する“外見・振舞い・コミュニケーション”の3つの要素から、特に非言語コミュニケーションによるパーソナルスタイルのつくり方をご紹介します。

PMの自己開発ツールとしてイメージマネジメント(印象管理)を活用し、自己演出力やセルフブランディング能力を磨いてみませんか? 国際イメージコンサルタントがワークを通して自己開発のヒントをお伝えします。

【セミナーコンテンツ】

- ・PMに必須のイメージマネジメント(印象管理)
- ・パーソナルカラー(似合う色)とセルフチェック
- ・パーソナルスタイルのつくり方

【受講をお勧めする方】

- ・自分をブランディングし価値を高めたい方
- ・より良い人間関係を築くためにコミュニケーション能力を向上させたい方

【講師略歴】全日本空輪(株)を経て、カウンセリング、接客講師、人材育成に従事。国際イメージコンサルタント協会(本部:米国)所属イメージコンサルタント/産業カウンセラー/キャリアコンサルタント/交流分析士。外見・内面両面へ、カウンセラーならではのアプローチでイメージ(印象)に関するコンサルティングを展開。個人、企業、学校等へセッション・セミナーを実施。大学等での講義も担当中。